



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和5年2月1日
文責：校長 江上 知男



動画の様子

「性に関する指導旬間」です！

学校教育で求められる「子どもに付けるべき力」について、よく「知・徳・体のバランスのとれた力(生きる力)」と言われています。そのうち、「体」での取組について、1月31日(火)の児童集会で健康委員会の子どもたちが動画を制作して発表してくれました。テーマは「スマホやタブレット等のデジタルデバイスとのつきあい方」でした。発表の内容、子どもたちの役割演技が素晴らしく、しっかり考えさせてくれました。「スマホやゲームに私の人生振り回されているじゃないか！」というセリフが心に残りました。「知る」だけ

なく「行動すること」の大切さを考える、良いきっかけになったと思いました。ブラボー！

さて、2月1日からは「性に関する指導旬間」として、全学年で取組を行います。いわゆる「学校の性教育」は、社会情勢とともに変化してきました。現在の課題は、「SNS等による性情報の反乱と性被害」「人工妊娠中絶及び性感染症の増加」「多様な性的指向や性自認を理由とする差別や偏見」等が挙げられています。コロナ禍の影響もかなりあるそうです。

そこで、本校ではこれらの課題と子どもたちの発達の現状から、次のことを大切にしています。

- ①生命誕生や心身の成長における男女差や個人差を理解し、今の自分を好きになること。
- ②男女には体の特徴や発達段階等に違いがあるが、お互いに相手のことを大切にすること。
- ③家庭や生活の役割は、男女関係なく互いに助け合うことや適切な意思決定ができること。

しかしながら、これらの課題を学校教育だけで取り組むのは難しいです。特に、上記③に関する「ジェンダー」の問題については、ご家庭や地域との連携が必要です。ジェンダーとは、生物学的な性別ではなく、社会的・文化的につくられる性別のことを指します。世の中の男女の役割から生まれる性別です。例えば、料理＝女の仕事…この性別がジェンダーと言われるものです。

今、最も世界的な指標であるSDGsの5番目の目標は「ジェンダー平等を実現しよう」となっています。子どもたちが、社会生活を送る「手本」は、子ども時代に観た大人の姿です。「家庭や地域の仕事や役割が、『男だから・女だから』で決められるのではなく、みんなの話し合い等で『お互い納得して』決める」様子を見せていただければありがたいです。

2年学習発表会がありました

1月27日(金)に、2年生の学習発表会がありました。内容は、半年間かけて生活科で行ってきた「町探検」で調べたことや聴き取ったことを役割演技としてまとめたものでした。

この発表内容を作るにあたっては、実際に地域に足を運んで見聞したことがとても貴重なことだったと思いますし、演技の中には子どもたちの「表現の工夫」がたくさん見られました。子どもたちの「嘉島愛」が一層高まったのではないかと思います。「極寒」の体育館に足を運んでいただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



なりきり警察官！

1月27日(金)の夜から翌朝にかけて、「運動場に面した教室のガラスが割れる」という事件が起こりました。子どもたちに被害が及ばなかったことが、不幸中の幸いでした。学校と町教委はすぐに警察に届け、現場検証をしてもらっています。監視カメラはありますが、休日の学校は人の目が届きにくい現状があります。地域からも、学校の様子についてそれとなく見守っていただければありがたいです。